



Subaru

男声合唱団

ニュースNo.681

19. 2. 18

本並美徳です。昴指揮者から団員の みなさんへの檄文！届く！

2月18日

本並美徳です

いざみホールでのコンサートを直前にして、皆様への切なるお願ひ。

千秋団長のリサイタルは素晴らしいです。男声合唱団「昴」の誇りです。

それに、男声合唱団「昴」が20年近く歌ってきた歌の数々、の中から、

それに今回初めて取り組む歌には無駄がありません。

それぞれは「大切に、誇り高く、聴いてくださる皆様への団員の訴え、心、愛です」名曲ばかりです。

大変ですが、体に鞭うって、誇り高く、最高の演奏をしようではありませんか。

決して曖昧に歌うということがないように、又前へ前へ、に出るように、表現したい。

そのために、最後の努力をよろしくお願ひします。

謝謝！

本並美徳

コンサート直前の定例レッスン！ 通しレッスンで全曲を！

2月15日・17日



□ 2月15日(金)18:00～20:30
昴定例レッスンが開催されました。
佃さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で、「夕焼け」と「朝露」のレッスンを、休憩・報告事項をはさんで、「橋を作ったのはこの俺だ」「SIYAHAMBA」「浜辺の歌」を練習しました。この段階でのレッスンは、どの曲も、発声の拙い箇所の修正、ことばの曖昧な表現の修正、頭の揃わないリズムの合わせ等、自信をもって歌える段階まで何度も繰り返しのレッスンとなりました。ピアノ伴奏は西應靜さん。

参加者は全33名でした。

指揮者から一言アドバイス

「朝露」：T1の最初の4小節「よるがあけた くさのはにも～」「キムパムチセウゴ～」：気持ちをを詞に乗せて、各人がソリストになった気持ちで声を出して。

「橋」：出だしからリズムに乗って、フォークソング調・バックパック調（？）の乗りで元気よく！

技術部長よりの12回コンサート各曲コメント

1月最後の習熟度調査結果&2月1日・3日・10日のレッスンの状況から見えてくるもの
・「春を待つ」：音高響きを保つ。春を待つそれぞれの情景が目に浮かんでくるような表現に。

・「浜辺の歌」：BRの歌い出しがカギ、3拍目・6拍目を遅れず揃え、曲に相応しい響きで。パートバランスの取れた音量で明るくさわやかに表現できるよう、他パートもよく聴き合う。

・「ねがい」：歌い始め&歌い終わりのピアノで歌う部分の集中度が大事、特にピアノ独自間奏後の集中した響きを支える身体の使い方。長いピアノ間奏中、歌い手は姿勢を緩めず目線は客席前方へ向ける。

・「夕焼け」：暗譜の遅れ、ピアノと他パートを聴き合えているか？曲の場面変化に応じた歌い方が出来ているか？パートごとの強弱表現の調整がとれているか？特に後半の強弱表現に問題ありか？

・「橋を」：リズミカルなポップスの歌い方ができない歌い手が多い。まだ歌詞を間違える。ソリスト3人の動きを舞台と同じ広さを確保した状態で確認したい。後ろに並ぶ歌い手の表情と統一された動きはどうか？

・「航路」：3番歌詞、T1・T2全員がしっかり覚える。3番で初めて歌う Duet 部譜と1・2・3番通して歌う Chor 部譜の音程が違うトコロをしっかり意識して歌い分けることができるようとする。3番の音量変化の徹底。

・「朝露」：全員がハングル歌詞をも覚えきる。詩の内容にふさわしい強弱変化が自然に出てくるようにしたい。

・「SIYAHAMBA」：歌詞と振付動きを連動させ覚える。「Ha—mba—」「夢一を一」「強一く一」「前一へー」の十分に伸ばして弾んで歌うリズムを崩さないこと。舞台に広がり散らばって立つ位置、当日現場での確認となるが、一人一人の位置を図面上で予め決めた案を作成→17日の通しレッスン後に最終案を各PLが決める。

・「このみち」：直前の団長挨拶中に、息を整える。団長挨拶の間に、平場でパート毎に近づいた位置に立つ。

□2月17日(日)14:00~17:00定例レッスンが開催されました。佃さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングのあと、22日の本番を想定し、指揮：本並先生、司会の吉岡さん・林さんのMC付き、1部・3部昂コンサート曲・ピアノ伴奏西應静さん、2部の千秋昌弘リサイタル・ピアノ伴奏森二三さん、「SIYAHAMBA」のジャンベの



千秋さん「ヨイトマケの唄」熱演！

三上摶さんの演奏、振付指導の文屋淳さんも出席いただいたフルメンバーでの通しレッスンとなりました。参加者は全36名（+三上さん、文屋さん、林さん）でした。



「SIYAHAMBA」のエンディング



「航路」伊藤・仲谷 ドュエット

□通しレッスンを終えて、指揮者より「まとめの一言アドバイス」

「今日は全曲通して歌った。自分で、うまく歌えていないな・・というところは反省してもう一度自己レッスンしてしっかり歌えるようにしてほしい。

1部4曲がまず大事なところ、今日は1部の曲が全体に「うつろな感じ」に聞こえた。もっと声をしっかりと意識をもって出して欲しい。いずみホールは大きいホールだから。息を使って延ばすところ(拍子)は最後まで延ばして。

悠々と、音楽の内面的なところをもっと声に出して欲しい！」

□指揮者より「一口アドバイス」(2019.2.10ニュース680号再録)

「朝露」

・李政美さん(歌手・訳者)は言っています。「朝露」は決して“アジタート”しないで！せつせつと心に染み入るように歌いましょう！

T1 「よるがあけた くさのはにも しんじゅよりうつくしい あさつゆがある」

Espressivo 感情豊かに 朝露のテーマ：朝露は真珠より美しい、でも命は短い。それを提示している。そういう美しい声で。情景をもっと色濃く言葉にして！

22小節～「あかくてらされる・・・」PPで入る。

26小節～「わたしはいく・・・」fで。ことばを“伸びした”音で。「わ」はユニゾン。きれいな声で、音合わす。明るい響きがほしい。

30小節～「かなしみのりこえ・・・」f f しっかりと、縦の声で！

「浜辺の歌」

(1番)BR：「あしたはまべをさまよえば・・」：最初のBR出だし、きれいなメロディにきれいなことばで。もう少し声出せ！

「さまよえば・・」：クレッシェンドで。2番「もとおれば」3番「さまよえば」もクレッシェンド。「ば」：きれいに、縦で、助詞だから添えるように。

「風の音よ～」：声を張って、クレシェンド。「くものさまよ・・」：dimして、「よする」へ。
「よする」：遅れないこと。合わせて。

(2番) T1・T2・BR：「Чаа Чaa Чaaa Ч Чaa Чaa Чaaa つきーの」：(「Ч」8分休符)
BS：「よするなーみよかえすなーみよー」

BSの歌詞にT1・T2・BR合わせて！最後の小節の「よー」と「aaaa」はdim

BSの歌詞をよく聞いて3パート合わす。音程確認。聴き合う。BR後半テンポ早くなる。
「つきの」の出だし合わせる。指揮をよく見て。

(3番)テンポがやや遅れ気味になる。リズム感の問題。後ろ髪に引っ張られるような気分で歌わない。声を揃えて、“自分はお客様に見られているんだ、いい格好でいい声で歌っているのだ”の気持ちで、みんなと声を合わせて、テンポ遅れないよう。

「よする波もー」の「もー」：dim くくもらないで、きれいな「もー」

「貝の色もー」：rit a tempo 「もー」： もっときれいな「もー」で、最後の音！目立つよ！

□ 2月22日(金)の「千秋&昴ジョイントコンサート」の最後のレッスン日
2月19日(火) 強化レッスン 18:00~1回のみとなりました。最後の調整で、全員での声合わせが重要です。必ず出席してください。風邪や体調に気をつけて頑張りましょう！

□ 報告・連絡事項

① 「千秋&昴ジョイントコンサート」チケット完売！！

担当の山本副団長より、1F：713席完売、2F：108席中91席販売（残席は見にくい位置・それでも良しの方へ）。団員みんなの奮闘で「基本的に完売の快挙！」に対して、「お疲れさま！ありがとう！！」の報告がありました。

なお ○キャンセル券が出た場合は、「当日券」として扱いますので、担当のほうへ戻してください。○チケットをなくした方は、チケットのNo.を前もって担当者に連絡し、当日受付で入場できるようにします。

②チケットが完売できたことのよろこびとともに、決して安くない入場料を払ってご来聴いただくお客様に対して、昴への期待に応えられるようコンサートに責任をもって最後まで臨みましょう！と山本副団長よりの挨拶がありました。

③3月1日(金)レッスンの練習曲(予定)

3月1日のレッスンは新たに昴のピアニストとして月1回来られる門万沙子さんとの初めての合わせレッスンとなります。

「死んだ男の残したものは」「雨」「母なるウォルガを下りて」「6ペナス」の4曲。
復習して臨んでください。楽譜のない人は楽譜担当まで。